

国際シンポジウム

# ソーシャルメディア時代における ジャーナリズムの再編

11月23日(土)

## ニュース生産の多様化とジャーナリズム実践の変化

- 張志安 (中山大學メディア・コミュニケーション学院院長)  
張寧 (中山大學メディア・コミュニケーション学院教授)  
王波 (テンセントニュース編集長)  
郎峰蔚 (「今日頭条」プラットフォーム副編集長)  
葉鉄橋 (「刺猬公社」編集長)  
山田賢一 (NHK国際放送局チーフプロデューサー)

デジタルなどのテクノロジーを使えば誰でも「記者」になれる時代。インターネットが人々にとって重要な情報取得の手段になり、SNSの発展によって誰でも即時性の高い情報を発信できるようになりました。既存メディアの影響力低下、ソーシャルメディアなどの台頭という二つの危機に、現在のジャーナリズムは直面しています。

本シンポジウムでは中国・日本の研究者およびジャーナリズム関係者を招へいし、情報環境の変化の中での既存メディアの存在意義及びインターネット技術によるジャーナリズムへの影響について考えます。また、近年の中国と日本のジャーナリズムやメディア事情を踏まえ、国際的比較の視点からジャーナリズムの再編の課題について検討します。  
(言語：中国語)

11月24日(日)

## 学生の研究発表

**日時** 2019年11月23日(土) 9:30~17:00

11月24日(日)10:00~12:00

**場所** 北海道大学大学院メディア・

コミュニケーション研究院 608室

(北17西8)

主催：北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院附属東アジアメディア研究センター  
問い合わせ先：王冰 TEL/011-706-6940 E-mail/WangBing@imc.hokudai.ac.jp  
\*本シンポジウムは「若手教員スタートアップ経費」(代表者：王冰)の一環として行います。